

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議に利用者または利用者家族の参加ができていない。	現状は、利用者家族は仕事や遠方に住んでいるため、参加が厳しい状況。今後は、参加が可能な利用者には、できる限り参加できるよう取り組んでいきたい。	外部評価後に行われた運営推進会議で、利用者の参加が実現できたので、今後も可能な限り参加を呼び掛けていきたい。	取り組み中
2	6	身体拘束について、内部研修の実施。	ミーティング時等に、身体拘束についての勉強会の実施。	マニュアルを置くだけではなく、それについての勉強会(内部研修)も必要。	6ヶ月
3	25	介護記録作成時、モニタリングは個々に行うだけでなく、職員間の話し合いが必要。	介護計画作成時には、職員間でモニタリングの話し合いの時間を設ける。	モニタリングに職員間の話し合いの場を設け、口頭で職員の個々の利用者に対する意見が聞けるようにする。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。